



# くりしま

《本園の教育目標》

- 元気がある ○自分のことは自分です
- 仲良く遊ぶ ○ものごとに興味・関心をもつ
- 思ったことを話し、人の話を聞く
- 体験や考えに感動する ○工夫して表現する

《栗島幼稚園ホームページ》 [栗島幼稚園](#)

検索

《Instagram》 [kurishima1955](#)

## 『新時代、少子時代』

～大谷翔平選手とダルビッシュ有選手から学ぶ～

園長 矢田 泰久



新年度のはじまりです。新入園児の皆さんご入園おめでとうございます。在園児の皆さんご進級おめでとうございます。園での「新しいお友達や新しい先生と出会い」「新しいものやこととの出会い」は皆さんの大きな成長に必ずつながると確信しています。皆さんへのお勧めは、園でもお家でも「たくさん遊び、たくさん話し、たくさん優しくしましょう」です。この一年、仲間と先生と一緒に、元気いっぱい楽しく過ごしてまいりましょう。

ところで、3月に野球のWBC大会を観戦し、感動した保護者の方、関係する皆様方も多いかと思えます。日本選手の大活躍と優勝という結果は、見るものに野球の楽しさや少々大げさですが生きる喜びを味わいさせてくれました。と同時に、私はこれからの時代に生きる人のあり方や子ども達の育成に大切なことを教えてもらった気がしました。そのよきお手本は、大谷翔平選手とダルビッシュ有選手です。

今や日本でもアメリカでも野球を知る者で、この二人の名を知らぬものはないでしょう。二人の選手としての技量（高度な認知能力や知識・技能）はもちろんですが、大谷選手の素晴らしさに「夢実現への弛まぬ努力」「仲間や出来事への高い尊敬の念」などといった豊かな人間性が挙げられます。目標を具現化する強い信念、礼儀正しさや他者をリスペクトする姿勢は、極めて非認知能力の高い人であることを証明しています。感動をいただきました。

一方、ダルビッシュ選手は、人としての成長を感じます。若いころは自己中心的なイメージが強く、ともすると俺中心の生き方に見られました。それが歳を重ね経験を積むことで自分のことだけでなく、惜しみなく仲間や後輩に自分の体験(失敗談と成功談)を伝え、家庭では子育て分担をしっかりと担うなど、自分ファーストからチームファーストさらにファミリーファーストの生き方に変わっていったことです。柔軟で変化をいとわない多様性に富んだ人、人に仕える人、これからの父親像の範になることでしょう。共感させていただきました。

今、少子時代がゆえに子どもに求める期待はともすると大きすぎます。しかし、価値観の多極化や高度な科学技術の発展(AIなど)が広がる中でも、感情豊かに自分で考え、判断し行動し、生涯にわたってことを実現や表現しようとする人、違いを認め尊重する人、人とのコミュニケーションし続ける人はたくましく素晴らしいです。新型コロナウイルスによる感染症も徐々に収まりつつある中、心身共に健やかなで感情豊かな人の幼児期における育成に向け、今年度も保護者・地域や関係する皆様のご理解とご協力を仰ぎ 園の教育計画を実施してまいります。何とぞよろしくお願ひいたします。